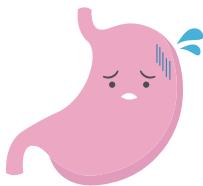




胃がん検診を受けましょう

菅原内科胃腸科医院

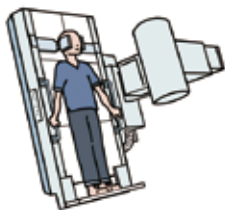
菅原一彦 先生 (内科・胃腸科)



皆さん、胃がん検診してますか？山形県では、男女とも胃がんの死亡率が高い傾向が続いています。胃がんは自覚症状がほとんどないまま進行してしまうことが多く、無症状でも定期的な胃がん検診を受けることが重要で、早期にがんを発見し治療を開始することができます。初期の胃がんであれば生活にほとんど支障なく治療し、ほぼ全例で完治が期待できます。

胃がん検診には胃 X 線検診と内視鏡検診があります。

胃 X 線検診は造影剤（バリウム）を飲み上腹部に X 線を照射して、食道から胃、十二指腸までを撮影します。臓器の形や異常（ポリープ、潰瘍など）を調べる検査です。異常が発見された場合は、精密検査として更に内視鏡検査を行う必要があります。



胃内視鏡検診（胃カメラ検査）は鼻や口から細いスコープを挿入し、食道から胃、十二指腸などの粘膜を直接観察することができる検査です。観察するだけでなく検査時に病変が見つければ組織の一部を直接採取（生検）し、病理検査をすることで診断を確定することも可能です。

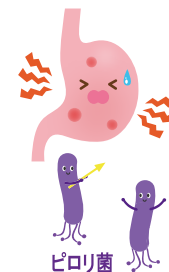


40 歳を超えると胃がんのリスクが高まります。40 歳を超えたら定期的に胃がん検診を受けましょう。

また胃がんの原因となるピロリ菌感染の有無も一度は検査する事をお勧めします。50 歳以上の方は約 70%以上の方がピロリ菌に感染しているとされています。ピロリ菌に感染されている方は除菌治療をすることで、将来の胃がんの発症リスクを 1/3 に低下させられる事が知られています。



では、ピロリ菌はどうやって感染するのでしょうか。以前は井戸水を飲むと感染するという話を聞きませんでしたか？しかし、最近は井戸水なんてほとんどないし、飲んだ記憶もない…という人でも検査したらピロリ菌に感染していた、なんて話もよく聞きます。



ピロリ菌はどこからやってくる??

胃がんの発症リスクを高めるものは何か知っていますか？まず、ピロリ菌感染が胃がんの主な原因となつています。他には、野菜や果物の摂取不足や塩分の多い食事、過度な飲酒、喫煙、ストレスなどの生活習慣が要因とされています。

感染経路はまだ十分わかっていませんが、一つとして口からの感染は間違いのないようです。感染する時期は、大人になつてからの感染は少なく、ほとんどが乳幼児（5歳以下）に感染すると言われています。それは、乳幼児期は胃の中の酸性が弱いためピロリ菌が生きのびやすいからだそうです。そのため、ピロリ菌に感染している親から子への口移しや同じ箸やスプーンを使うと感染する可能性が高くなります。子供が欲しがってつい無意識に食べかけのものを上げてしまう…なんていうこともありますので注意が必要です。自治体によっては小中学生でピロリ菌検査を無料で行っているところもありますので心配な方はそういうのも活用するのもいいですね。

最後に：

これからイベント続きの年末年始。そんな中、胃もたれや胃痛など胃の不調ができてやすい時期です。そんな症状で受診をする際にお願ひです。胃腸薬関係は消化器科以外でも処方されている可能性が高いです。整形外科で痛み止めと一緒にとか、血液サラサラの薬と一緒にとか。胃薬と認識していなくても処方されている可能性がりますので、ぜひ受診の際はお薬手帳やマイナンバーカードなど、今飲んでる薬が確認できるものをご持参し医師や薬剤師にお伝えください。

みどり薬局

薬局長 荒井聖恵



みどり薬局

〒994-0063 山形県天童市東長岡2丁目1-39
TEL.023-666-5188 FAX.023-666-5185

インフルエンザ等感染症も多く、寒さもこたえる季節です。より一層お体にお気をつけてお過ごしください。

